

第 11 回科学の甲子園全国大会 実施要項

1. 目的

第 11 回科学の甲子園全国大会（以下、「全国大会」という。）は、国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等（以下、「高等学校等」という。）の生徒等を対象とした科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒等が集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とする。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
- ② 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、
高等学校文化連盟全国自然科学専門部
- ③ 後援 文部科学省、公益社団法人日本理科教育振興協会
- ④ 都道府県教育委員会及び協働パートナーの協力を得て開催する。協賛金は大会運営費の一部（副賞や記念品等）に充てる。

3. 開催日程

新型コロナウイルス感染リスク低減の観点から、当初予定していた交流イベント等を中止し、日程を令和 4 年 3 月 18 日（金）～20 日（日）の 3 日間で短縮して開催する。詳細は別紙の通り。

4. 場所

つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2 丁目 20 番 3 号）及び
つくばカピオ（茨城県つくば市竹園 1 丁目 10 番地 1）

5. 出場チーム

- ① 都道府県で選出された 47 チームを全国大会の出場チームとする。
- ② 全国大会出場チームは、1 都道府県 1 チームとする。
- ③ 全国大会出場チームは 1 校単位で編成する。
- ④ 出場チームは高校 1、2 学年の生徒（中等教育学校後期課程及び高等専門学校にあっては同年次の生徒または学生）で構成する。
- ⑤ 出場チームの人数は 6 人以上 8 人以内とする。
- ⑥ 各出場チームについては、引率教員 1 名が同行する。

6. 競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

- ① 筆記競技は、理科、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用につい

て問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題される。

- ② 実技競技は理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察等、及び科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。

7. 競技の形式

- ① 筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数、配点比率及び競技時間は以下の通り。各競技の実施時間帯は重複しない。

種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
筆記競技	1 競技	6 名／1 競技	360 点 (30 点×12 題)	120 分
実技競技	3 競技	3~4 名／ 1 競技	720 点 (240 点×3 競技)	競技毎に 決定

- ② 実技競技「総合競技」は、競技内容を事前公開し、試作用のキットを配付する。
- ③ その他の実技競技については、物理分野及び生物分野より出題する。

8. 表彰等

- ① 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。
- ② 優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。
- ③ 主催者は、協賛企業等を広く募り、その他の表彰を授与する。
- ④ 出場チームの成績は当該出場チーム及び当該教育委員会に提供する。
- ⑤ 優勝チームには米国の 2022 サイエンスオリンピック（5 月中旬開催）への参加権を付与する。なお、当該大会はオンラインで開催されるため、渡米は行わず、日本から参加するものとする。

9. 費用負担

- ① 出場チームの選手及び引率教員 1 名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として主催者が負担する。
- ② 競技運営を支援する都道府県教育委員会指導主事等の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として主催者が負担する。

10. 運営

大会の運営のため、JST 理事を委員長とする「科学の甲子園全国大会実行委員会」を設置する。

1 1. その他

- ① 新型コロナウイルスの感染状況や医療の逼迫状況によっては、分散開催（全国から会場に集まるのではなく、各都道府県会場で競技を実施）または開催中止となる可能性がある。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、JST が定める参加不可項目に該当する場合は参加不可とする。また、参加者全員に以下の対応を求める。
 - ・ 開催 2 週間前から毎日検温・自覚症状チェックをし、別途配付する健康管理表へ記入すること。
 - ・ JST が手配する事前の PCR 検査及び入場時の抗原定性検査を受けること（検査費用は JST 負担）。
- ③ 大会における個人情報及び肖像権の取り扱いについては別途通知する。

以上

(別紙)

「第11回科学の甲子園全国大会」スケジュール(案)

大会1日目 令和4年3月18日(金)会場:つくば国際会議場

時間	プログラム
12:00~14:20	選手団到着、受付、抗原定性検査
14:20~15:00	開会式
15:00~15:15	オリエンテーション
16:00~18:00	筆記競技
19:00~	宿泊施設へ移動、夕食・入浴・就寝

大会2日目 令和4年3月19日(土)会場:つくばカピオ
つくば国際会議場

時間	プログラム
~ 8:30	朝食・準備・会場到着
9:00~10:40	実技競技①
11:00~12:00	昼食
12:20~14:00	実技競技②
16:10~18:40	実技競技③
19:20~	宿泊施設へ移動、夕食・入浴・就寝

大会3日目 令和4年3月20日(日)会場:つくば国際会議場

時間	プログラム
~ 9:30	朝食・準備・会場到着
10:00~11:00	表彰式
11:00~	選手団帰宅
11:00~11:40	優勝校記者会見(優勝校のみ)

※ 例年実施の特別シンポジウム、協働パートナー等によるブース展示、フェアウェルパーティー、エクスカーションは感染リスク低減のため中止。

※ 都道府県教育委員会が対象の指導主事交流会も中止。

※ 大会3日目の昼食は支給しない。

※スケジュールは変更になる場合があります。スケジュールの詳細は、出場チームに別途通知します。